

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・半期に1度経営ビジョン発表会を開催、動画配信している。 ・毎月初めに代表取締役社長より進捗資料を社内掲示板で共有している。 ・週3日の全体朝礼を全従業員がリアルタイムもしくは録画で視聴している。								8	9									17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・就業規則(服務規律)にて全従業員へ周知、適宜見直しを行っている。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・就業規則(服務規律)にて全従業員へ周知、適宜見直しを行っている。											10					16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・社内各部署から選抜されたスタッフでSDGsプロジェクトを立ち上げ推進している。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・自社の商標登録・会社ロゴの商標登録だけでなく、取引先であるニュージーランド政府「マヌカ蜜の製造および品質管理法」や熊本大学等の研究機関との知的財産保護契約を取り交わし、遵守している。								8.2 8.3	9							16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報保護法に基づき、適正に管理している。 ・ISMS(セキュリティ管理の強化)を進めている。 ・外部システム機器(USB等)の持ち込みを禁止し、情報漏洩防止を徹底している。 ・重要資料は鍵付きキャビネットにて管理している。																16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・お客様電話窓口、コーポレートサイト等にいただいたお客様のお声は、社内システムにて経営幹部・従業員が共有し、業務改善やサービス品質の向上などに生かすよう取り組んでいる。															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5				8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・BCP(事業継続計画)策定しており、毎年更新している。 ・その計画に基づき年に1回防災訓練を実施している。										9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・後継者の指導・育成に取り組んでいる。									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5				8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・会社方針の明確化及びその周知・啓発文書の作成と相談窓口の設置を行い、就業規則に定めている。 ・国籍、性別等に関係なく、同じ職務の社員には同一の人事制度を適用している。					4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・安全衛生委員会を開催している。(月1回) ・産業医による職場巡視チェック、併せて問題箇所指摘・改善チェックを実施している。(月1回)					3				8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員の公正な待遇を図るため、就業規則を改定し同一労働同一賃金ガイドラインに沿った体制を整備している。						5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業は事前申請制を導入し、上司が必要と認めた場合のみ許可している。 ・育児休暇取得率100%を維持している。 ・育児短時間勤務制度あり。					3		5.5		8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・新卒・中途問わず、入社時に配属先を含む各部門での職務研修を実施している。 ・資格取得推進制度あり。 ・フォークリフト運転技能講習推進を行っている。					4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・「健康経営優良法人2024(ブライト500)」認定(4年連続) ・従業員のための健康情報を定期的に発信している。(月2回) ・会社敷地内(本社)の全面禁煙を行っている。 ・ウォーキングの推奨及び歩数統計による社内キャンペーンの実施を行っている。 ・食事スペースの他に、リクライニングチェアを完備し個室に仕切られた休憩ができるスペースがある。					3				8								17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・女性400名、男性97名、女性80.48%であり、女性管理職が全体の41.03%を占めている。 ・外国籍従業員が、3名就労している。 ・障がい者従業員が、9名就労している。(定期面談を行い、しごとサポーターセミナーに参加している) ・人事異動や業務に、人種や性別などの差別などによる待遇の違いはない。					4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・テレワーク勤務実施・推進をしている。 ・社内外WEB会議の推奨や時間差での休憩など、感染症防止を徹底している。									8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・週3日の全体朝礼ではWEB会議システムを使用し、リアルタイムで他事業所と共有を行っている。 ・【予定】生産性向上のためRPA導入を検証中、業務改革に取り組んでいる。									8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●	・認定されている。(平成29年10月2日以降) ⇒令和6年度ブライト企業認定期間中					3	4				8	9			12				

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・マニフェスト制度に基づいて複写式伝票にて適切な管理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・太陽光発電を備えた工場でクリーンエネルギーを使用しており、総エネルギー使用量を月毎に管理・把握している。 ・環境負荷の軽減に配慮した自動車の使用や運転「エコドライブ」についてポスターの掲示、社内WEB回覧での周知を行っている。							7.3					13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートを用いてエネルギー使用量を算出しており、CO2排出量を把握している。 ・紙の大量廃棄削減の為、ペーパーレスを目的とした複合機を導入し、各部署で活用している。 ・社内で運用していた申請書等の運用を見直し削減、もしくは電子化に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・植樹や農家への種子配布を行い、環境改善の働きかけを継続している。 ・蜜蜂に対する農業危害防止に係わる熊本地域連絡会議、地域農産物等安全対策会議専門部会へ参加している。(年1回開催／熊本県、菊池市、熊本市) ・蜜蜂の巣箱を設置する圃場の周辺農家、県、JA、養蜂家が連携し、蜜蜂やその他の生物が住みよい環境を調査、整備を実施している。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・廃棄予定の巣枠から蜜蝋を回収し、お客様への蜜蝋販売、直売店のディスプレイ用として使用している。 ・燻煙器の煙の素となる麻袋はコーヒーマーカー様より廃棄予定分を無償で譲り受け、再利用している。 ・裏紙利用促進を進めている。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・商品の品質を保ちつつ、可能な限り節水に取り組むため、用途に応じて井水(地下水)・市水(水道水)・浄水の使い分けを行っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・つめかえ用製品による容器の再利用を推奨している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・廃棄物0を維持している。 ・適正な賞味期限の見直しを行っている。(2020年10月に商品の賞味期限を9ヶ月⇒12ヶ月へ変更)	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・植樹による緑の創出を毎年実施している。 ・本社社屋周辺のグリーンカーテンが生育中で、緑化活動に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・太陽光発電を備えた工場でクリーンエネルギーを使用している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	・ミツバチの蜜源となる植樹活動を実施している。 (合計150本ほどのヤマハゼとシマトネリコを熊本県内の山林に植樹) ・毎年米作農家へのれんげ種子配布を行い、土壌作りに繋がっている。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・手提げ袋の有料化により、使用削減に貢献している。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・環境に優しいハイブリット車プリウスを社用車として使用している。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・熊本市版HACCP最高ランクを保持している。 ・ISO22000の認証を取得している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・ポリ容器(果汁蜜ボトル)ユニバーサルデザイン認定されている。 ・本社および工場見学通路はバリアフリーデザインで設計されている。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・巣箱は熊本県産の杉の木を使って使用し、果樹栽培においては熊本県産の堆肥、液肥の使用しており、地産地消を推進している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・人々の健康・美容に役立つ蜂産品を扱っている。 ・みつばち交配は農作物の実に欠かせず、農業振興に役立っている。 ・国内外の農家・養蜂家との連携し、仕事創出による双方の事業拡大に貢献している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●	・オープンイノベーションを目的とし、地域大学2校との共同研究(蜂蜜およびロイヤルゼリーによる美容健康への効果)を行っており、うち1件は平成26年に製造特許を取得している。		2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・職場周辺美化の為、フードパル清掃活動を実施している。(月1回) ・2020年7月豪雨災害で募金活動・ボランティア活動を実施している。→募金は日本赤十字社を通じて寄付 ・赤い羽根共同募金を実施している。(年1回)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・BCP(事業継続計画)を策定しており、毎年更新している。 ・その計画に基づき年に1回防災訓練を実施し、事業所に防災備蓄や防災グッズを常備している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・地域消防団で活動を行っている。(従業員3名) ・年に1回防災訓練を行っている。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・はちみつは賞味期限も長く常温で保存ができるので非常食・防災食と言える。 ・ミネラル、ビタミン、必須アミノ酸、酵素などを含む180種類以上の栄養素が入っており、殺菌効果もあり。									9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・定期的に自然環境保全を啓蒙するコンテンツを作成し、コーポレートサイトやSNS等で配信・また社内回覧(WEB上)を行っている。 ・SDGsの幅広い問題への教育ビデオ(YouTube)を社内で共有しており、SDGsに関する認識が浸透している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・総務部、店舗(営業部)、工場(製造部・物流管理部)、海外部門(国際部)にて、中学生、高校生、大学生、障がい者、外国人留学生の実習の受け入れを実施している。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・地元の学生を積極的に雇用している。 ・新卒採用における、県外の学生を対象とした転居費補助制度あり。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	・小学生向けの養蜂に関する公開授業を行っている。(北海道) ・大学生向けのリモート講話を実施している。(北九州市立大学、熊本学園大学)		2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17